

NEW

ハイブリッドチャック HQQJC

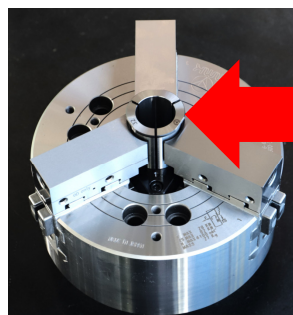
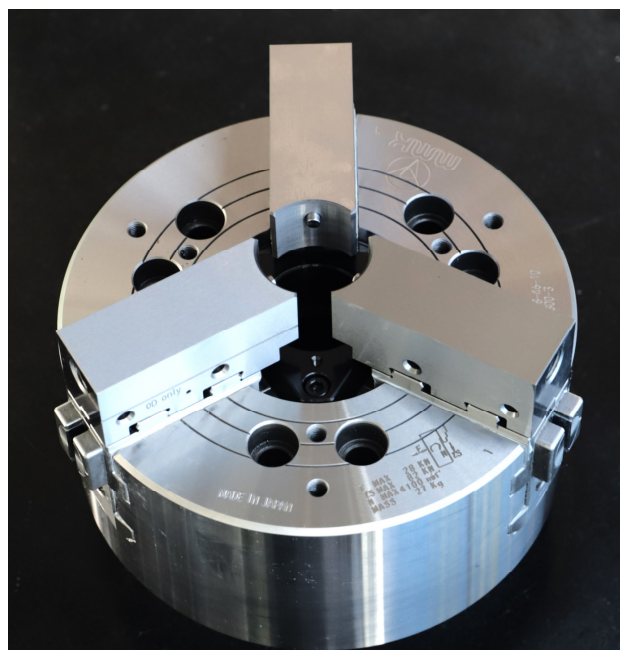


省段取

省人化

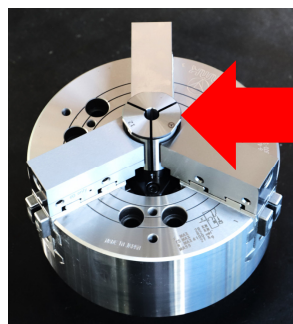
チャックボディ交換不要 1台完結チャック

M10164J-0



例1

φ32



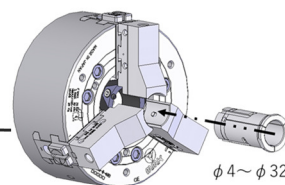
例2

φ12

おすすめポイント

ポイント1 1台で多様な把握を実現

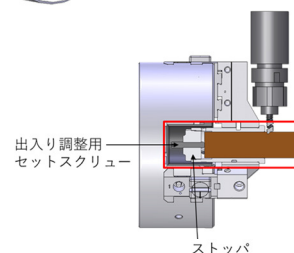
お使いの三つ爪チャックをベースに、専用コレットを挿入するだけで、コレットチャックとして使用可能です。これにより、爪の交換といった段取り時間や追加コストをかけることなく、「3つ爪把握」と「コレット把握」を1つのチャックで切り替えられます。



φ4～φ32

ポイント2 加工自由度の向上

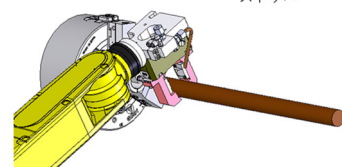
コレット内にストッパーを設け、カット材にも対応
クロスミリング工具の寄り付きが良く、専用コレットの製作不要


 出入り調整用
セットスクリュー

ストッパー

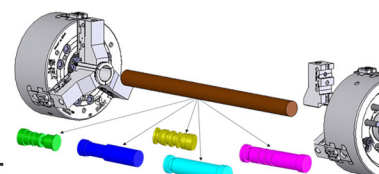
ポイント3 バー送り不要・省スペース化

チャック前面から一定長さの材料を口ポット投入
バー送り装置が不要になり、省スペース自動化が可能



ポイント4 【究極】1品流しからの自動化

バー材から複数のワークを連続的に加工可能
サブ側の爪も自動交換対応
専用ソフトウェアを準備済みで、フル自動化に直結



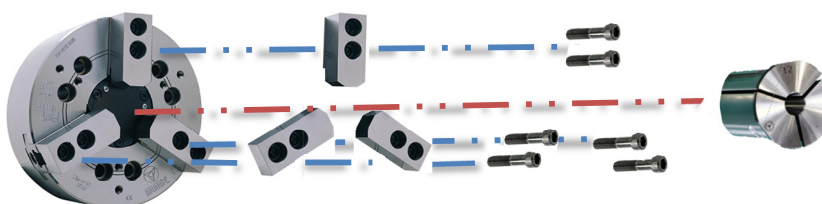
松本機械工業株式会社
MATSUMOTO MACHINE CO., LTD.

なぜ **ハイブリッドチャック** が選ばれるのか？

■導入比較：油圧チャック vs ハイブリッド HQJC

	通常油圧チャック	ハイブリッド (HQJC)
把握精度	±0.025mm	±0.01mm以下
段取の手間	大	小 (自動化可)
多品種対応	△	◎

＼ 通常チャックにもコレット対応可能 ／



■導入メリット

段取り削減	爪交換で多品種ワークに即対応
自動化対応	ロボットハンドとの接続性◎
高精度	繰返し精度±0.01mm以下で安定把握

導入検討企業様から高評価！

評価POINT① 品質と生産体制が安定化 夜間無人運転も実現

事例	自動車部品の細シャフト加工
効果	・小径加工用の爪からコレットを使用することで細物シャフト加工の品質が安定 ・夜間無人化により人員配置の自由度向上

評価POINT② 1台で細物から丸材まで対応 チャック交換の手間がなくなる

事例	医療機器の長尺ワーク加工
効果	多品種対応のラインに組込み段取替えが不要になり稼働率が上昇する

評価POINT③ 多品種少量生産に最適な柔軟チャッキング

事例	自動搬送ラインへの組込み、小径シャフト・パイプ類の高精度把握
効果	コレット ↔ 三つ爪の自動切替で多品種対応が容易になる